



PHC
GROUP

わたしたちは、たゆみない努力で
健康を願うすべての人々に新たな価値を創造し
豊かな社会づくりに貢献します





精緻な技術でヘルスケアの未来を切り拓くリーダーとなる



PHCグループは、人生においてかけがえのない「ヘルスケア」の分野に、多方面から取り組んでいます。これまで50年以上にわたり、疾病の研究、診断、治療、予防につながる革新的な製品・サービスを提供してまいりました。当社グループは、世界125以上の国と地域で事業を展開し、「ヘルスケアの未来」を見据えた精緻な技術の提供に日々邁進しております。我々は「One PHC」を標榜し、グループ内の事業間連携による新しい発想やシナジーを生かしながら、ヘルスケアジャーニーにおける各タッチポイントで患者さんや医療従事者へ価値をもたらし、豊かな社会づくりに貢献します。

- 糖尿病マネジメント領域：アセンシア ダイアベティスケアは、糖尿病をお持ちの方がご自身の血糖状態をスムーズに把握できるよう、最先端のモニタリング技術を提供しております。現在、当社の血糖値測定（BGM）システムは、世界中で約1,000万人の治療にご利用を頂いています。また、市場が持続血糖測定（CGM）システムへと転換する中、当社はSenseonics社と資本提携し、世界初となる長期皮下埋め込み型CGMをお届けしています。
- ヘルスケアソリューション領域：デジタルの活用で医療業務の効率化を推進し、臨床検査を通じて医療の発展に貢献しています。ウィーメックスは、病院・診療所向け医事コンピューターや診療所向け電子カルテシステムで国内シェア1位を誇り、また、遠隔医療の支援や医療データを活用した医療DXを推進しています。LSIメディエンスは、検査分析技術を基盤とするがん診断や遺伝子検査などの臨床検査を展開し、メディフォードは、創薬の基礎研究から臨床試験までの幅広い研究開発をサポートしています。
- 診断・ライフサイエンス領域：この領域では疾患の早期発見と治療に貢献しています。エプレディアは研究ラボのワークフローを改善し、より効率的で正確な判断を支援する製品とデジタル技術によって精密ながん診断ソリューションを提供しています。PHCbiの超低温フリーザーは国内外で多くの受賞歴があり、業界を先導する省エネルギー性能で研究ラボの支援を行っています。PHC IVDの高精度な診断試薬やコンパクトなPOCT（Point Of Care Testing：簡易迅速検査器）は、医療現場でのリアルタイム検査に貢献しています。

PHCグループを代表して、当社にご関心をお寄せいただきお礼申し上げます。当グループでは2024年、新たに「精緻な技術でヘルスケアの未来を切り拓くリーダーとなる」というビジョンを掲げました。グループ全体の強みであるヘルスケア領域におけるタッチポイントの多さを存分に生かし、グループ内連携を通じてシナジーを創出していきます。そして、「ヘルスケアの未来」に向けて今後も、革新的で精緻な製品・サービスの提供と社会課題の解決を通じ、豊かな社会づくりに貢献してまいります。



出口 恭子

代表取締役社長CEO
PHCホールディングス株式会社

出口 恭子



PHCグループのDNA

PHCグループは、プレジジョンとデジタル技術により、人々のより良い健康を支えます。お客さまの信頼を得る数々のブランドを基盤とし、革新性と精緻な技術力を強みとします。糖尿病マネジメント、ヘルスケアソリューション、診断・ライフサイエンスにおいてベストインクラスのソリューションを提供し、豊かな社会づくりに貢献しています。

これまで培ってきた起業家精神を発揮し、オープンマインドで粘り強く、たゆまぬ努力を重ね、お客さまのニーズにお応えします。また、コンプライアンスを徹底し、誠実に事業活動を遂行することに努め、日々品質向上に取り組んでいます。そのためには、相互に連携しお互いを尊重しあえる環境を築き、そこに透明性が担保されていることが重要であると考えています。

PHCグループは、革新的な製品やサービスをいかに生み出すかを、常に探求しています。今後もイノベーションを通じて新たな価値を創造し、ヘルスケアの未来を切り拓いていきます。

1969

松下寿電子工業株式会社として設立

2010

パナソニック ヘルスケア株式会社に社名変更

2012

三洋電機株式会社のヘルスケア事業部門をパナソニック ヘルスケア株式会社に統合

2014

パナソニックグループよりカーブアウトし、パナソニック ヘルスケアホールディングス株式会社として事業開始



2016

Bayer AGより糖尿病
ケア事業を買収・統合
アセンシア ダイア
ベティスケアに
社名変更

2018

パナソニック
ヘルスケアから
PHCにコーポレート
ブランドを変更

2019

Thermo Fisher Scientific,
Inc.より病理事業を買収・
統合
エプレディアに社名変更

2019

株式会社生命科学
インスティテュート
から株式会社LSI
メディエンスの
全株式を取得

2021

PHCホールディングス
株式会社が東京証券
取引所 市場第一部へ
上場*

* 2021年10月14日に新規上場
(証券コード 6523 東証プライム)

2023

PHCホールディングス
株式会社傘下にて
ウィーメックス株式会社*
が事業開始

* PHC株式会社メディコム事業部
とPHCメディコム株式会社を統合

PHCホールディングス
株式会社傘下にて
メディフォード株式会社*
が事業開始

* 株式会社LSIメディエンス治験
事業の吸収分割による株式会社
LSIM安全科学研究所 (LSSI) への
承継、PHCホールディングス株式
会社によるLSSIの子会社化



PHCグループの グローバルネットワーク

PHCグループは、世界各地に拠点を置き、125以上の国と地域で事業を展開しています。ステークホルダーの皆さんの声にしっかりと耳を傾け、医療従事者や研究者、患者の皆さんに新たな価値をお届けできるよう努めています。

PHCホールディングス株式会社
〒100-8403 東京都千代田区有楽町1丁目13番2号
第一生命日比谷ファースト15F

主なグループ企業:

PHC株式会社
〒100-8403 東京都千代田区有楽町1丁目13番2号
第一生命日比谷ファースト15F

アセンシア ダイアベティスケアホールディングス
Peter Merian-Strasse 90, 4052 Basel,
Switzerland

エプレディアホールディングス
20 Post Road, Portsmouth, NH, 03801 USA

株式会社LSIメディエンス
〒174-8555 東京都板橋区志村3丁目30番1号

ウィーメックス株式会社
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目25番18号
NBF渋谷ガーデンフロント14F

メディフォード株式会社
〒174-0053 東京都板橋区清水町36番1号



■ PHCグループ拠点



アジア + オセアニア

オーストラリア	日本	インド
インドネシア	台湾	マレーシア
シンガポール	香港	フィリピン
中国	韓国	

ヨーロッパ

オーストリア	イタリア	イギリス
ハンガリー	スウェーデン	ドイツ
ロシア	フィンランド	ポーランド
ベルギー	オランダ	ギリシャ
アイルランド	スイス	ポルトガル
スペイン	フランス	
デンマーク	ノルウェー	

中東 + アフリカ

アルジェリア	UAE	トルコ
--------	-----	-----

南北アメリカ

アメリカ合衆国	メキシコ	カナダ
---------	------	-----

* 一部の製品やサービスは、国によって提供されていない
可能性があります



シナジーによる グループの強さ



グローバルな医療課題に取り組み、イノベーションを通じた新たな価値の創造を目指し、PHCグループの各事業は個々に、そして協力し合いながら研究から、診断・治療、検査・予防まで幅広い分野の進展を支えています。



糖尿病マネジメント

高精度な血糖値測定 (BGM) システムや持続血糖測定 (CGM) システム、シームレスなデータ連携、デジタル糖尿病管理ソリューションにより、糖尿病患者さんのQOL (生活の質) 向上に貢献します。

ヘルスケアソリューション

医療ITから臨床検査、創薬支援サービスまで、幅広くサービス・ソリューションを提供することで、患者さんや医療従事者の皆さんを支援するヘルスケアサービスの充実を目指します。

診断・ライフサイエンス

がんをはじめとした疾病のよりの確な診断を実現する高精度で包括的なソリューションを提供しています。新しい治療法や新薬の開発を目指した先駆的なライフサイエンス研究を支援する製品を通じて、患者さんの生活を支え、より健康な社会づくりに貢献します。





糖尿病管理における先進的な技術で、 患者さんのより快適な生活をサポート

アセンシア ダイアベティスケアは、糖尿病を持つ方々が抱える生活の難しさについて理解を深めてきました。私たちの製品をご利用になる患者さんのニーズに応え、精度の高い測定機器や一人ひとりの病状にあわせたソリューションを開発するなど、改善を重ねることで、患者さんの糖尿病管理を支えています。

糖尿病の発症増加に伴い、早期の診断と可能な限りの予防と効果的な治療の重要性がますます高まっています。患者さんや医療従事者を高精度な測定機器で支え、より効率的な病状管理と患者さんの生活の質向上に貢献します。



* グローバル取り扱い製品

持続血糖測定システム

業界初で唯一の完全埋め込み型 CGM

持続血糖測定(CGM)システムは、患者さんの皮下に挿入したセンサで、血糖を自動的に測定できます。CGMの測定データから血糖の変動を予測でき、患者さん自身が血糖傾向を確認できるため、糖尿病の適切な管理をサポートします。

長期間の装着が可能

Eversense®365*1は、18歳以上の1型および2型糖尿病を持つ方々の病状管理に適応する、世界初で唯一の1年間継続使用が可能な持続血糖測定システムです。Eversense E3®CGMシステム*2は、一部の市場で継続販売されています。

皮下埋め込み型センサーの上へ装着するスマート・トランスミッター

センサの上に装着したワイヤレス送信機から、血糖データが患者さんのスマートデバイスに転送されます。また、生活シーン*3に合わせて送信機を簡単に着脱できます。

高い信頼を誇る精度

最長6か月にわたって高精度で安定的に測定でき、患者さんは、低血糖の時でも安心してお使いいただけます。

*1 アセンシアは、Senseonics社が開発するEversense® CGMシステムのグローバル独占販売権を取得しています。

*2 Eversense®持続血糖モニタリング (CGM) システムは、18歳以上の糖尿病を持つ方々に対してEversense®365では最長1年間、Eversense®E3では最長6か月間継続的に血糖変動を測定します。糖尿病治療の判断材料として、指先への穿刺による血糖測定を代替するために使用されます。Eversense®365では13日目以降週に1回、Eversense®E3では21日目以降1日に1回のキャリブレーション(計測器の正確性を確認し、正しい数値に調整する作業)のために指先穿刺による血糖測定が必要です。また、症状がCGMからの情報と一致しない場合や、テトラサイクリン系の薬を服用している場合も同様です。センサーの挿入施術および取り外しは訓練を受けた医療提供者が実行します。Eversense®CGMシステムは処方箋が必要な医療機器です。詳細について、患者の皆さんは医療提供者の方にご相談ください。

*3 ワイヤレス送信機を装着していない時は、血糖データは生成されません。



血糖値測定システム

高精度かつ迅速なモニタリング

私たちの血糖値測定(BGM)システムは、その極めて高い精度*4と利便性で、患者さんが血糖値測定を日々の生活に効果的に取り入れ、ご自身の状態をより的確に把握できるようサポートします。これからも、患者さんが快適に過ごせるよう、新製品・機能の開発に取り組んでいきます。

高精度な測定結果

先進的な自社技術により、リアルタイム測定を実現。

卓越した技術

優れたモノづくり技術による高品質な製品。

グローバル展開

100か国以上で製品を販売し、約1000万人の患者さんに提供。

糖尿病管理アプリケーション

ワイヤレス通信及びケーブル接続でデータ連携する糖尿病管理ソリューションを実現

データ連携

ワイヤレス対応の血糖自己測定システム*5と連携し、糖尿病アプリケーションとデジタルソリューションで血糖値を読み取ります。

データ駆動型機能

患者さんの健康に影響する血糖値の変動パターンを特定し、簡単に実践できるアドバイスをを行います。

データ解析の向上

測定値の収集と保存、表示、分析により血糖値変動のトレンドを明らかにし、データから示唆を導き患者さんをサポートします。

クラウド活用

複数のデバイス間でデータを同期し、血糖値データ及びレポートを安全に保存するほか、医療従事者との共有が可能です。AndroidとiOSデバイスでアプリケーションをダウンロードでき、その他にはオンラインやパートナー企業を通じて利用できるソリューションもあります。

*4 具体的な精度については、BGM製品のユーザーガイドをご覧ください。

*5 グローバル取り扱い製品。

Eversense、Eversense E3 CGMおよびEversense ロゴは、Senseonics社の商標です。Ascensia およびAscensia Diabetes Careのロゴは、Ascensia Diabetes Care Holdingsの商標及び/又は登録商標です。その他の商標は、各所有者の知的資産であり、情報提供のみを目的として使用されています。いかなる関連又は推奨を示唆・暗示しているものではありません。



LSIメディエンス

未来のヘルスケアを切り拓くために、
確かな分析技術で研究者や医療機関の
皆さんをサポート

LSIメディエンスは、国内市場を中心にメディカルとサイエンスを融合したヘルスケアサービスを提供しています。検査分析技術を基盤とするがん診断や遺伝子検査などの臨床検査サービスを通じて、病気の予防、早期発見、効果的な治療の実現に向けて努めています。私たちはメディカルサイエンスの力によって健康で安心な社会の創造に貢献します。

私たちの最大の強みは「分析力」です。蓄積された膨大な検査データを解析し、検査結果を提供するだけでなく、そのデータが意味する「病状」や「薬効」を読み解き、医師や研究者の皆さんに提案します。こうした取り組みを通じて、より迅速で的確な診断や、検査業務の最適化に貢献します。



ドーピング検査

最新の機器と先進的な分析方法を用いてドーピング検査における検体分析を実施

私たちのアンチドーピングラボラトリーは1985年に、検査分析機関としてアジアで初めて国際オリンピック委員会 (IOC) から認証されました。1999年の世界アンチ・ドーピング機構 (WADA) 設立以来、私たちは国内唯一のWADA認定機関であるWADA東京ラボラトリーとしてグローバルなアンチ・ドーピング活動を推進し、スポーツの健全な発展に貢献しています。



臨床検査

病気の予防や早期発見に向けた多様な検査を提供し、医療機関をサポート

LSIメディエンスの臨床検査事業は、国内で業界トップクラスの規模を誇ります。私たちが構築したラボオートメーション・システムは、“より正確に、より迅速に”という高度な臨床検査ニーズに対応する様々なサービスを提供しています。

多様な検査ポートフォリオ

生化学、血液学、免疫学、生物学、遺伝子学を含む4,000種類以上の多種多様な検査項目

大規模なプラットフォーム

全国に営業拠点網を有し、長年にわたる実績により大学病院からクリニックまで病院全般、行政機関等のお客さまとの強固な信頼関係

高品質な検査

米国臨床病理医協会 (CAP) の認定を取得維持

先進的な取り組み

遺伝子解析・質量分析における高い技術力



医療従事者の負担軽減と 業務効率化により 医療サービスの質の向上に貢献

1972年に日本初のレセプトコンピュータを発売して以来、私たちは医療ITや先進的なデジタルソリューションを通じて医療や福祉に貢献し、皆さんの健康を支えてきました。ウィーメックスは、これまで培ってきた経験と知識を活かし、さらに医療DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進することで、全国の診療所や病院、薬局の皆さんに最先端の医療ITソリューションを提供します。

地域医療連携におけるデジタル化の進展およびクラウドやAIを活用した医療の質の向上に伴い、医療ITへのニーズは高まっています。医療分野の様々な課題を解決するために、私たちは患者・医師・薬剤師の皆さんを繋げる地域医療連携のソリューションを展開し、次世代医療のプラットフォームになることを目指します。

また、2023年10月に、富士フイルムヘルスケアシステムズ株式会社より電子カルテ・レセプト関連事業を継承し、ウィーメックスヘルスケアシステムズが誕生しました。レセプトチェックサービスで高い市場プレゼンスを持つ同社の強固な顧客基盤を通じて、医療IT業界をさらにリードしてまいります。

企業・健康保険組合・健診機関向けシステム



Wemex 保健指導システム

指導者と対象者の双方を支援し、特定保健指導の成果につながるシステム

初回面談から請求データの作成まで、保健指導の管理業務にかかる工数を短縮でき、継続的な健康づくりと疾病予防を支援する効果的なコミュニケーションをサポートします。



Wemex 健診代行

企業・健康保険組合の業務負担を軽減する健診事務代行サービス

健康診断の運用設計から、申込手続き、結果回収まで、最適な健診の提案および事務処理を一括で代行。全国約3,000(2024年度)を超える健診機関・医療機関と提携しています。

Medicom クラウドカルテ



オンプレの使いやすさを、完全クラウドで実現 Medicom クラウドカルテ

完全クラウド型のシンプルなUIでありながら、オンプレミス型の使いやすさを実現した次世代型クラウド電子カルテシステムです。スピーディーなカルテ入力と、算定・会計漏れ防止機能を標準搭載しています。医師だけでなく、看護師や事務スタッフに配慮した使いやすさを追求しました。

直感的な操作性と視認性に優れた診療所向けの電子カルテ

レセプトコンピュータと一体型である本システムは、カルテ入力の段階から入力ミスを防止します。薬や病名の検索履歴を学習して候補を予測して表示することで、効率的な操作を支援します。また、クラウド技術により、ノートPCやタブレットのブラウザで、場所を問わずカルテ情報を閲覧できます。

medicom-CKII

べてらん君 collaboration Plus+

迅速なデータ共有で医療スタッフ間の円滑なコミュニケーションを推進する病院向けの電子カルテ

オンプレミス型・クラウド型双方の機能が選択できるだけでなく、シンプルな操作性と充実したサポート体制を通じて、一般・療養型中小規模病院における医療DXを支援します。また、院内外の協力体制を築き、法人グループ内の施設間連携の強化のみならず、地域包括ケアへの寄与にもつながります。

高速処理で診療報酬請求業務を効率化するレセプト院内審査支援システム

レセプト電算ファイルを読み込み、指定条件に応じ自動確認します。1万件のレセプトを約8分間で処理^{*1}、添削・エラー内容などの確認結果も見やすく表示し、目視点検にかかる作業負担と時間を軽減するとともに、より重点的にチェックすべき項目の見える化にも貢献します。

^{*1} OS:Windows® 10(64bit)/CPU:Intel® Core™ i7-7700 3.60GHz/メモリ:8.00GBの動作環境で初期設定状態にて測定した場合。「処理」はチェック実行からチェック結果までを指し、ファイル読み込みおよびオペレーションにかかる時間は含まれません。
* ウィーメックス ヘスルケアシステムズ株式会社の製品です。

保険薬局向けシステム

PharnesX-MX

処方監査やレセプト請求のチェック機能を標準搭載。ミスを防ぎ薬局経営をサポートする電子薬歴

必要な薬歴情報を一画面で表示し、服薬指導からの薬歴作成をより効率的に。クラウド+オンプレミスのハイブリッド構成も対応可能。最適な構成で従来よりもコストを削減し、在宅訪問やオンライン服薬指導など、柔軟な運用をサポートします。

歯科向けシステム

fine-SEED

手書きカルテの自由さと使い勝手を再現し、業務ストレスの軽減に貢献する歯科医院向け電子カルテ

お客様で用意されたPCを電子カルテ子機として使用できるため、院内のレイアウトに合わせたフレキシブルな運用環境を実現します。また、薬歴を登録することで入力中に相互作用チェックがかけられ、安心、安全に治療を行うためのサポートをします。

^{*} ウィーメックス ヘスルケアシステムズ株式会社の製品です。



モダリティに応じた評価方法で、 研究開発の各ステージに対応した 分析技術でサポート

メディフォードは、豊富な受託実績と経験で培われた試験の信頼性と高い分析を掛け合わせ、創薬の探索フェーズを含む基礎研究から臨床試験までの研究開発を支援します。

非臨床試験の信頼性を確保するGLP^{*1}に適合した受託試験機関として、医薬品や再生医療等製品などにおける非臨床試験受託サービスを行っています。また、バイオマーカーや薬物の濃度測定など高度な分析技術を有するバイオアナリシスサービスと、臨床試験での検査にかかわる一連のプロセスをお届けするセントラルラボサービスを提供します。

研究開発の各ステージに対応した分析技術と国内外の製薬企業・分析ラボラトリー向けサービスを通じて、多様化する新規治療法(モダリティ)の発展に貢献します。

^{*1} GLP : Good Laboratory Practice



非臨床試験受託サービス

最先端の分析技術やGLPなどの信頼性基準に適合した施設により、
医薬品開発と化学品分析の多彩な試験に対応

製薬・食品等の民間企業をはじめ、官公庁やアカデミア向けに、医薬品、再生医療等製品、医療機器、農薬、化学物質、化粧品などの基礎研究から安全性、薬効薬理、及び薬物動態に対応する試験メニュー、臨床フェーズへの移行・規制当局手続きまでトータルにサポートします。患者さんの生体内により近いPDX/PDC^{*2}などの独自の創薬支援技術を通じて、革新的な医薬品の開発をサポートします。

^{*2} PDX : ヒトのがん組織を免疫不全マウスに移植した組織片

PDC : 患者由来の細胞株



バイオアナリシスサービス

多様化するモダリティに対応した幅広い分析手法で、研究・開発を支援

生体試料中の薬物やその代謝物、バイオマーカー等の分析法開発から分析法バリデーション、実検体の測定を実施します。細胞特性の解析や遺伝子解析、組織的な空間解析を含む多様な手法を取り入れ、新規モダリティの研究・開発における各フェーズに合わせた分析サービスを提供します。また、治験や臨床試験で採取した貴重な生体試料を将来の活用のために長期保管します。



セントラルラボサービス

臨床研究における検査を一括で行うことで、検査方法や基準値を統一し効率的な解析を実現

全国の医療機関で実施される臨床研究（治験・臨床試験）の検体回収から一括検査まで、一連のプロセスをサポートします。検体ごとに最適な環境で保管し、世界水準の高度な検査技術で、高品質の検査データを正確かつ迅速に提供します。海外ラボのネットワークを通じて国際共同治験にも寄与するなど、医薬品開発のグローバル化にも対応します。





精緻ながん診断技術の進で、 人々のより豊かな生活に貢献

エプレディア (Epredia) は、社名の由来である「Enhancing Precision (Cancer) Diagnostics (精密ながん診断を向上させる)」の理念のもと、がん診断の初期段階における解剖病理学分野で業界をリードしてきました。スライドガラスや染色試薬から自動包埋装置、ホールスライドデジタルスキャナーに至るまで、ラボ全体のワークフローを支える精緻な技術に基づいたソリューションを提供しています。

確かなトレーサビリティ、効率化された標本作製、デジタル化、そしてネットワーク連携を通じてすべての精密検査をより高度なレベルへと導きます。

私たちの製品には、人々の生活をより良くするために革新的で精緻ながん診断を支えることに取り組んできた、従業員たちの想いが込められています。



デジタルパソロジー*

病理検査の現在と未来に貢献

がん症例の増加や診断の複雑化に伴い、病理検査室はプロセスの迅速化とコスト削減の課題に直面しています。エプレディアでは、病理医の業務効率と処理能力を大幅に向上させる幅広いデジタルソリューションを提供し、効果的ながん診断を支援しています。1日最大1,500枚の組織サンプルを高解像度でデジタル化できるホールスライドイメージングデジタルスキャナーや、研究室や業界を問わず連携可能なソフトウェアシステム、組織試料の保存が可能な自動化された組織マイクロアレイなど、受賞歴のある幅広いデジタル病理ソリューションを展開しています。また、AIを活用した画像解析ソリューションでがん診断のさらなる精度向上に貢献しています。

* 一部はグローバル取り扱い製品

自動包埋装置(ティッシュプロセッサー)

診断の信頼性を支える基盤

自動包埋装置は、安定した性能と短縮された処理時間により、高品質な組織試料を提供します。実証済みのプロトコルと専用の消耗品の活用によって、病理医の利便性を向上するとともに、組織試料の連続処理における一貫性を強化します。さらに、独自の傾斜チャンバーや低温処理を可能にする自動浸透包埋などの機能により、ゲノム時代の複雑な診断に対応した高品質な試料作製を実現します。



ミクロトームと凍結切片作製装置 (クリオスタット)

ミクロトームは、医療や製薬分野の研究室で、豊富なアクセサリを活用し、診断や検査の準備として組織標本を簡単かつ精密に薄切化できるよう設計されています。また、クリオスタットは、薄切標本の仕上がりを左右するブレードの温度制御や作業時に上下動を可能にする機能を備え、迅速で正確、安全な操作を可能にし、高品質な結果を快適かつ効率的に実現します。



レーザースライドとカセットプリンター

組織・骨試料を載せるスライドガラスやカセットに、詳細な識別情報を直接印字記載することで、試料のトレーサビリティ機能が向上するよう設計されています。エプレディアの精緻なレーザー印刷技術は、プリンター内でのスライド移動やダウンタイムを最小限に抑え、トレーサビリティ向上と検査室の業務効率化を実現します。また、幅広いワークフローとの統合にも対応しています。

高品質・高性能な病理学用消耗品

業界でも高水準の品質性能、精度、そして優れた価値を兼ね備えています。標準化が求められている臨床検査環境において、必要とされる基準を提供します。スライドガラスは、光学的にも最高レベルの透明度を実現し、よりの確な診断を可能にします。また、細胞診染色は、使いやすさや高い透明度と費用対効果を兼ね備えています。

スライドガラス



細胞診染色



* グローバル取り扱い製品(日本以外)



業界をリードする高い技術と品質で、 医療現場やライフサイエンス研究 をサポート

1966年に薬用保冷庫を開発、販売して以来、私たちは製品ラインアップを拡充し、ライフサイエンス領域では、試料の長期保存や安定した細胞培養に欠かせない研究支援機器を、また、薬局での調剤業務や病院の給食分野では、調剤過誤の発生リスク低減や適温給食に役立つソリューションを提供しています。

また、再生医療、細胞医薬、抗体医薬などの画期的な治療法（モダリティ）の研究開発が進む中、私たちは、細胞遺伝子治療の早期普及に向けて治療製造プロセスのQCD（品質、コスト、納期）課題を解決する新たなソリューション開発に取り組んでいます。

長年培った高い技術と品質にこだわったモノづくりで業界をリードするとともに、最先端のライフサイエンス研究と次世代医療の発展を支え、健康で豊かな社会づくりに貢献します。

LiCellMo™



ライブセル代謝分析装置「LiCellMo™」

独自の高精度In-Lineセンサーにより、細胞の連続的な代謝変化を可視化。がんや幹細胞などの研究を支援

培養中の細胞が増殖・分化をするために取り込むグルコースと、その過程で産生される乳酸を、リアルタイムかつ連続的に測定することで、培地の一部を定期的に採取することなく、経時的変化が把握できます。さらに、細胞代謝メカニズムを解明し、細胞および遺伝子治療製品の製造プロセス開発における細胞培養の再現性と品質の向上を目的に設計されています。従来手法では得られなかった新たな知見の獲得が期待できます。

LiCellGrow™



自動培養装置「LiCellGrow™」*1

代謝変化を可視化するIn-Lineセンサーの値に基づき、自動で培地を交換。
細胞の培養環境を常に最適化し、製造プロセスのQCD改善に貢献

細胞医薬品の製造手法において従来手法では課題があった、製造プロセスや細胞特性の不均一性による不安定な品質の改善に着目。In-Lineセンサーによりリアルタイムで代謝をモニタリングすることで、無菌性を維持しながら細胞の代謝状態に応じて自動培養制御を行います。細胞代謝状態の定量化を可能にし、製造プロセスの効率と安定性の大幅な向上が期待できます。

*1 現在開発中製品（2025年度上市予定）



ノンフロン薬用保冷库・ 薬用冷蔵ショーケース

正確な温度制御により医薬品の品質管理に貢献

庫内の温度分布の均一化を高め、安定した保存環境を実現し、医薬品や試料の品質を長期的に維持します。また、独自技術による優れた省エネ性能で消費電力量を低減、温室効果ガス削減に寄与します。



ノンフロン超低温フリーザー

業界トップクラス*2の省エネ性能と高いユーザビリティで研究を支援

サンプルや検体保存に大切な温度安定性を独自制御技術で実現します。開けやすいハンドル設計、霜低減機能などユーザビリティにもこだわり、研究を支援します。さらに業界トップクラスの省エネ性能でお客様のESG対策にも寄与します。

*2 ENERGY STAR 認証取得



CO₂ インキュベーター

高精度制御と独自の汚染防止機能により、細胞の培養効率と再現性向上

温度と湿度を高度に制御し、細胞培養環境の安定性と迅速な環境復帰を実現し、効率的で生産性の高い研究をサポートします。また、コンタミネーション防止にこだわった設計により、大切な検体を汚染リスクから守ります。



IoTラボ管理ソリューション

大切なサンプルを保存するラボ機器を一元監視・管理

保存・培養機器と接続し、機器の稼働データをリアルタイムにクラウド連携し監視・管理します。品質管理の質向上と、施設管理者の業務効率化に貢献します。また、ヘルスチェック機能を使用することで、機器の状態把握が可能になります。



自動錠剤包装機

調剤過誤低減と業務効率化を支援

患者さんへの処方箋に基づき、必要な錠剤を自動的にカウント、払出し、一包化します。調剤過誤の低減と業務効率化を支援し、薬剤師の皆さんがより多くの時間を服薬指導などの医療サービスに充てることを可能にします。



適温配膳車「デリカート」

配膳食の適温管理と配膳業務効率化を実現

パワーアシスト走行と抜群の操作性で配膳業務負担を軽減します。温かい食事と冷たい食事を同時に運ぶことができます。



高精度な医療機器と診断薬の提供 を通じて、医療の発展に寄与

1962年に日本初の臨床検査薬、1991年に業界初の電気化学式自動吸引型血糖値測定システムを開発するなど、長年にわたって医療機器と体外診断薬を提供するトップランナーとして医療の発展に貢献しています。私たちは、卓越した開発力・モノづくり技術による高精度・高信頼性・高付加価値の製品開発を実現し、お客様の声（意見や要望）に基づいた製品を提供します。

また、協業するパートナーの皆さんと共に、様々な疾患の早期発見と効果的な治療を支える医療機器をお届けすることで、より良い医療の実現に寄与してまいります。



診断薬

高度な検査性能を持つ試薬を展開

血液凝固・線溶分野をはじめ、血液中の成分を測定する体外診断用医薬品（診断薬）を幅広く展開しています。自社装置専用の試薬や、他社の自動分析装置に対応する汎用試薬の他に、インフルエンザウイルス、新型コロナウイルスなどを検出できるイムノクロマト試薬を通じて迅速で簡便な検査に貢献しています。



診断機器

精度・信頼性の高い検査データを提供

心疾患や敗血症、性腺関連マーカーなどの分析に使用される移動式免疫発光測定装置は、高感度で迅速な測定を実現します。合成基質法、凝固時間法、ラテックス凝集法を一台で測定するコンパクト設計の全自動血液凝固検査システムや、化学発光酵素免疫測定法を用いる全自動臨床検査システムも展開し、救急病棟から大規模な中央検査室まで多様なニーズにお応えします。

パートナーシップ

卓越した技術力で
協業パートナーをサポート



血糖自己測定システム

納入先: アークレイ株式会社^{*1}



採血用穿刺器具/専用採血針

納入先: 株式会社三和化学研究所



病院/診療所用血糖値測定システム

納入先: 株式会社三和化学研究所



POC生化学分析装置

※HbA1c、脂質およびCRPを測定

納入先: ロシュ・ダイアグノスティックス社



呼気一酸化窒素測定装置

納入先: NIOX社



電動式医薬品注入器

納入先: JCRファーマ株式会社



電動式医薬品注入器

納入先: ファイザー社



電動式医薬品注入器

納入先: 帝人ファーマ株式会社

^{*1} PHC株式会社診断薬事業部で取り扱いのある、糖尿病マネジメント事業領域の製品です。





サステナビリティへの取り組み PHCグループは豊かな社会づくりに貢献します

PHCグループは、優先的に取り組むべき11の重要課題(マテリアリティ*)を特定し、グループ一丸となって、サステナビリティに取り組んでまいります

環境

「気候変動への取り組み」「省資源化による環境への配慮」「サーキュラーエコノミー社会の推進」の3つのマテリアリティに重点を置き、2040年までにカーボンニュートラルを目指しています。2025年6月に、国際的な気候変動イニシアティブ Science Based Targets initiativeより、当社の温室効果ガス (GHG) 排出量削減目標に対し、Near-Term Science-Based Targetの認定を取得しました。

社会

高品質で最先端の製品を提供することで、新規治療法の開発や医療の質の向上に貢献します。また、新興国や途上国での市場拡大を通じて、医療アクセスの改善にも取り組んでいます。サプライチェーンの強化やそれに関わる環境や人権への対応も重要課題と捉えており、責任ある調達と供給責任の遂行に努めています。

ガバナンス

持続的な成長と企業価値の向上を目指し、コンプライアンスとリスクマネジメントをマテリアリティに特定しています。法令順守と倫理的行動を徹底し、リスクの早期発見と適切な対応を通じて、ステークホルダーの皆さまの信頼を確保します。

* www.phchd.com/jp/sustainability/materiality





健康は、人々の人生において何よりもかけがえのないもの。
より良いヘルスケアを、患者さんが選択できるために。
PHCグループは、研究・医療機器、ヘルスケアITソリューションを世界各地で展開しています。
めざすのは、高品質な医療を、誰もが身近に享受できる未来の実現。
わたしたちの強みである精緻な技術を基盤に、医療従事者や研究者の皆さんと共創し、
健康を願うすべての人々のために、ヘルスケアの未来を切り拓いていきます。





PHC
GROUP

詳しくはホームページをご覧ください
phcd.com



2025年7月発行